



2025.11

特別号

「感謝」

海谷忠良 初代
理事長

海仁
Kaijin

海のように広く深い思いやり、
慈しみの心



初代理事長 海谷忠良先生の原点と歩み

医療法人社団海仁 初代理事長 海谷忠良(享年79歳)は、令和7年7月17日に永眠いたしました。
葬儀は令和7年7月19日20日に執り行われ、ご多用の中、多くの皆様にご参列いただきましたこと、
故人ならびに職員一同、心より御礼申し上げます。
ここに生前賜りましたご厚情に深く感謝申し上げるとともに、「医師・海谷忠良」のこれまでの歩みを
皆さまとともに振り返りたく、本号をお届けいたします。

1971年
(昭和46年)

新潟大学医学部附属病院眼科学教室を経て
秋田赤十字病院眼科に勤務

1976年
(昭和51年)

聖隷浜松病院眼科に勤務 眼科部長・副院長を歴任

1979年
(昭和54年)

アメリカアトランタにて超音波白内障手術の研修
同時にバスコム・パーマ眼研究所を単独で見学
日本に戻り、超音波白内障手術を開始



日本未導入の超音波白内障手術の技術取得でアメリカへ。
同時に単独で見学したバスコム・パーマ眼研究所では、施設の規模、設備の充実度、あらゆる眼疾患の研究や治療の広さと深さに触れ、驚きと感動、そして大きなカルチャーショックを受けた。この体験こそが「このような総合眼科施設を日本に作りたい」という夢の原点となった。帰国後、聖隷浜松病院眼科にて、静岡県初 超音波白内障手術を開始する。医師1人、看護師1人から始まった聖隷浜松病院眼科も22年間の勤務を経て、眼科専門スタッフ50名、ベッド60床の体制まで拡大した。



【主な講演・学会発表】

1987年	第41回日本臨床眼科学会 「極小未熟児の出生と 眼合併症の発生状況について」	2009年	第419回東海眼科学会 「二重フラップ穿孔トラベクレクトミー」
2000年	第23回日本眼科手術学会 「非穿孔性トラベクレクトミー」	2011年	第22回日本緑内障学会 「二重フラップ穿孔トラベクレクトミー の中期成績」
2001年	第55回日本臨床眼科学会 「緑内障手術（非穿孔性線維柱帯切除術）」	2013年	第67回日本臨床眼科学会 「開業医における 超広角走査レーザー検眼鏡の活用」
2004年	第27回日本眼科手術学会 「緑内障、白内障手術同時手術の長期成績」	2016年	第70回日本臨床眼科学会 「トーリック眼内レンズ導入の有用性について」
2005年	第59回日本臨床眼科学会 「電子カルテを中心とした 医療システムの構築」	2017年	第121回日本眼科学会 「ニューテクノロジーと付加価値 IOL が 生み出すコラボレーション」

1988年 6月
(昭和63年)

かけ川眼科 開院 (掛川市中宿)

(現在のかけ川海谷眼科)

当時の掛川市には眼科は1軒しかなかった。
聖隷浜松病院の勤務のかたわら、かけ川眼科での診療・手術のさらなる激務をこなす毎日であった。



1998年 6月
(平成10年)

海谷眼科 開院 (浜松市中央区助信町)

長年の夢を叶えるため、独立を決意した。
自らが掲げた「海仁」の理念を胸に、患者様主体の医療を実現させるため、大学病院に匹敵する最新かつ優れた検査機器・医療機器を導入、あらゆる疾患領域において高度な検査・診断・治療を行う体制を整えた。



2000年 12月
(平成12年)

医療法人社団 海仁 設立 海谷忠良先生 初代理事長就任

2007年 5月
(平成19年)

みどり台海谷眼科 開院 (浜松市中央区和合町)

地域密着型かつ海谷眼科のサテライト医院として、2005年に「たて石海谷眼科」を開院、その後名称変更、現在の場所に移転開院した。海仁グループ3施設が緊密に連携した、高度な地域医療の提供を目指した。



2008年 10月
(平成20年)

公益財団法人 日本生産性本部
平成20年10月23日



医療法人社団 海仁 海谷眼科 「ハイ・サービス日本300選」を受賞

公益財団法人日本生産性本部が主催する表彰制度。
高度医療の提供だけではなく、院内の「叱咤激励箱」の設置や患者様支援担当係を常駐するなどの先進的なサービスを取り組む姿勢が評価された。

2008年 12月
(平成20年)

海谷眼科 静岡県初 多焦点眼内レンズを用いた白内障手術を施行

自分が良いとわかっている治療を、患者様に提供したいという信念のもと、患者様一人ひとりに合った最善の治療を届けるため、治療の選択肢を広げ続けてきた。
かけ川海谷眼科は2009年1月より施行開始した。



海仁眼学会 2000年(平成12年)～2013年(平成25年)

患者様と医療関係者に向けて、研究発表や、当グループの取組みのご報告、各界の著名人による特別講演などを行っていた。



2010年 12月
(平成22年)

かけ川海谷眼科 静岡県初 DSAEK(角膜内皮移植)を施行
同時期、海谷眼科でも施行を開始した。

2011年
(平成23年)

「海谷式マルチフック」
製品化・発売

白内障手術の精度と安全性向上を目的とし、多機能白内障手術用器具「海谷式マルチフック(M-2170)」を考案した。イナミ株式会社より製品化・全国販売されている。

2013年 11月
(平成25年)



企業内保育園 フラワー保育園開園

圧倒的に女性が多い海仁グループでは、子育てをしながら働く職員の大変さを考慮し、「無理せず働ける職場作り」のため保育園を開園した。イベントやリトミックの実施など手厚い保育が喜ばれている。

2018年 2月
(平成30年)



医療法人社団 海仁
静岡県「ふじのくに子育てに優しい企業」表彰

当法人の企業内保育園の設置など、仕事と子育ての両立支援の取組みが評価され、子育てに優しい職場環境づくりをしている企業として表彰された。

2020年 4月
(令和2年)

海谷眼科内 岩田和雄記念海仁緑内障センター 開設



岩田和雄先生と海谷忠良理事長

海谷忠良先生の恩師・新潟大学名誉教授 岩田和雄先生は、世界の緑内障研究・治療の発展に貢献し、瑞宝中綬章を受章された。岩田先生の志を受け継ぎ、当法人の経験と実績をもとに最善の治療を提供するため、当センターを設立した。設立にあたり、前岐阜大学教授・前緑内障学会理事長を務めた山本哲也先生をセンター長に迎え、専門性と質の高い診療体制を整えた。



山本哲也先生

2025年 7月
(令和7年)



初代理事長・海谷忠良先生の逝去に伴い、
海谷亮子先生が二代目理事長に就任



■ 海仁まつり 2018年(平成30年)
10月7日

海谷眼科にて、患者様と地域の皆様参加型イベントを開催した。検査体験や職業体験お様が楽しめるゲームなどを行った。



■ アイバンク

公益財団法人静岡県アイバンク様よりアイバンク事業への協力に対する感謝状を拝受した。



■ 浜松まつり

地域への感謝の気持ちを形にする場として海谷眼科にて「練り」の開催を行った。先生は皆様の喜ぶ姿を見ることが何よりの楽しみでお祭りが大好きだった。

■ ベストドクターズ

米国の権威あるベストドクターズ社が医師同士の相互評価をもとに、多くの医師から支持を受けた医師を2年に一度選出する。2014年から5回選出された。



医療法人社団 海仁

初代理事長 海谷忠良

1946-2025



医療法人社団 海仁 【理念】

「患者様を主体に、海仁の心をもって、
患者様のQOVを高め、
QOLの向上に貢献する」

QOV=Quality Of Vision (視力の質) QOL=Quality Of Life (人生の質)

初代理事長・海谷忠良は「海のように広く深い思いやり、
慈しみの心」が医療には絶対的なものと考え、この心を
“海仁(かいじん)”と名付けました。

初代理事長・海谷忠良先生は、山形県山形市の緑豊かな山間部にある農家に生まれ育ちました。

幼い頃、へき地医療に汗を流す医師に強く心を打たれ、医学の道を志すようになりました。当初は眼科以外の分野を考えていましたが、緑内障研究の第一人者として活躍されていた、新潟大学名誉教授岩田和雄先生との出会いをきっかけに、眼科医の道へと歩むこととなりました。

眼科医としての経験を重ねていく中、患者様の「視力の質」の向上を通して、「人生の質」に豊かさをもたらしたいという強い信念が芽生えていきます。最先端の知識と技術を常に追求し、学会や研修に積極的に参加した先生は、新しい医療機器も率先して導入し、高度な眼科医療の実現に尽力しました。

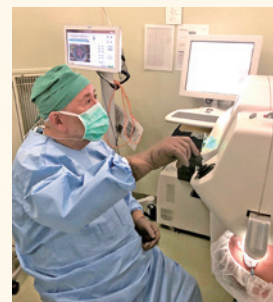
また、視覚障がい者の方々に対しても「たとえ見えなくても希望を持って、人生を豊かに生きてほしい」と、積極的に支援活動を行いました。すべての人に“見える喜び”と“生きる希望”を届けたいという想いが、行動の原動力となっていました。

「生涯現役」の信念のもと、長年にわたり変わらぬ情熱と真摯な姿勢を貫き、多くの患者様からの信頼を集め、深く愛される存在であり続けました。

プライベートではカラオケが趣味でした。北島三郎さんの歌が大好きで、「海谷三郎」と名乗り歌を披露することが、良いリフレッシュの時間となっていました。



左上：若かりし頃の海谷忠良先生



手術中の海谷忠良先生



カラオケを楽しむ「海谷三郎」

ご挨拶

～海谷忠良 初代理事長の想いを受け継いで～

このたび、海谷忠良初代理事長(以後、前理事長)の特集号をお届けするにあたり、長きにわたり当法人を支えてくださった地域の皆様や多くの患者様に、心より感謝申し上げます。

前理事長は、開院以来「地域の患者様の目の病気を治療し、健やかな人生に貢献したい」という強い信念のもと、常に患者様お一人おひとりに誠実に向き合ってきました。診察室では穏やかな笑顔を絶やさず、時には冗談を交えながらも、どんな方にも分け隔てなく寄り添う事が医療の原点であり、それこそが私たちにとっての道標でもあります。

今回の広報誌では、前理事長が大切にされてこられた「海仁の理念」の原点と、これまでの歩みをご紹介します。

「海のように広く深い思いやり、慈しみの心」を「海仁の心」とし、「**患者様を主体に、海仁の心をもって、患者様のQOV(視力の質)を高め、QOL(人生の質)の向上に貢献する**」という「海仁の理念」のもと、私たちは、その志と理念を大切に受け継ぐことを使命とし、今後も地域に根ざした安心と信頼の医療を提供し続けてまいります。この地域とともに歩み、皆様の健康と笑顔を支えていくことが、私たちに課せられた使命だと感じております。

あらためまして、これまで当法人を支え見守ってくださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



医療法人社団 海仁 理事長
海谷眼科 院長
海谷 亮子

発行元 医療法人社団 海仁

海谷眼科

浜松市中央区助信町 20-40

予約専用 TEL:053-476-3855



WEB 予約



KAIYA_EYECLINIC

みどり台海谷眼科

浜松市中央区和合町 154-36

予約専用 TEL:053-476-8814



WEB 予約

かけ川海谷眼科

掛川市中宿 27

予約専用 TEL:0537-23-1669



WEB 予約

WEB 予約は当院が初めての方(初診)、初診の方でコンタクトレンズご希望の方、学校健診後で当院に受診したことのある方(再診)がご利用いただけます。詳細はWEB予約サイトをご確認ください。